

# 陽の里

発行 令和2年9月10日



社会福祉法人 新生会  
総合ケアセンター サンビレッジ  
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地  
TEL (0585) 45-5545(内)  
URL <http://www.sun-village.jp/>

## No.145

テーマ コロナ時代を生きる医療と福祉の連携



▲新生苑で往診する 今村 明 医師



医療法人社団 橘会 理事長  
新生病院 院長

今村 明

新生病院院長の今村 明です。

今年の6月で院長となり3年目になります。

医療・福祉・予防を地域の方々に提供する体制を整えるため、福祉の拠点であるサンビレッジ新生苑と足並みを揃えるべく会議等で患者情報の共有を進めています。サンビレッジの入所者の方々の健康を支えるために、サンビレッジ新生苑には毎週私が木曜日に、月曜日には河合正巳医師が健康相談に伺っています。また、サンビレッジ大垣、リハビリセンター白鳥は清水直子医師が担当しています。脳神経内科が専門の藤井勝朗先生が、神経疾患について適宜サポートしています。外来では専門医として、大垣市民病院の元副院長であった肝臓専門の熊田卓先生や循環器専門の坪井英之先生が非常勤で担当しています。

現在、地域連携室を中心に開業医さんや施設の方、ケアマネジャーさんからの入院依頼も広く受けています。在宅医療も外来受診が困難な方から、癌の末期の方、在宅中心静脈栄養の方などにも対応しています。3年後に竣工予定の新しい病院では、地域の方々やケアマネジャーさん、訪問看護の方などが気軽に情報交換できるスペースを準備して地域の医療と福祉が連携できる病院を目指しています。また、健診センターを併設して予防の面にも力を入れていく予定です。引き続きサンビレッジと新生病院が連携して西濃全体の医療・福祉・健康に貢献していけるように尽力していきます。



# 「自粛中の在宅高齢者を支える」 生活療法の取り組み

サンビレッジ新生苑 生活療法

作業療法士 遠藤 元

サンビレッジ新生苑では、毎週水曜日に「温咲カフェいこい」を開催しています。地域の方の集う場や楽しい勉強会の企画をしており、「認知症を地域で支える」ことを目指しています。令和2年に入つてすぐ、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、自粛生活が余儀なくされ「温咲カフェいこい」も三密を避けるため開催ができなくなっていました。

そこで、集まることができなくても、自宅でできることはないか？生活療法スタッフで新しい取り組みを考え「認知症予防体操」を動画配信するアイデアができました。

**ポイント1** 拮抗運動（左右で違う手の動きを足や口を考えながら動かす）で構成し、認知機能を高める。

**ポイント2** 初級、中級、上級、チャレンジ級と難易度をつけ達成感を味わう。



**ポイント3** 見ている方がグループと一緒に参加しているような画面構成・雰囲気作り

新生会のホームページから閲覧できるようになっておりますので是非ご覧ください。

コロナと共に生きる時代の中、新しい生活様式に合わせたICTの活用と柔軟な対応が求められていると感じています。動画を見た方が、楽しい雰囲気の中で「一人ではない」と感じて頂けたらと思っています。今後も生活療法として地域との繋がりを大切に新しい発信をしていきたいと思えます。

# WEB面会 MENKAI GO (面会GO)を活用した事例

サンビレッジほづみ駅前

リーダー 酒井義隆

何気ない生活の中、災害によって気づくことがあります。コロナや大雨と私自身も離れて暮らす家族を心配して電話をかけました。普段の生活では忘れていた時に大切な人がいることを思い出します。

この時期、同じように離れて暮らす同居者、その家族、知人も同様の思いを抱いているのではと思います。コロナ禍により同居者と家族が会うことも出来なくなりました。そこで、法人では代替案を検討し様々な方法を試みました。同居者の様子を写真と直筆のメッセージ付きでご家族へお手紙を送りました。次に、WEBで顔を見ながら会話する機会も設けました。そのWEB面会機能で同居者への支援内容を検討する担当者会議も顔の見える形で行いました。

手紙の返信でご家族から「温か



▲WEB面会で心が温まるひと時

い気持ちになった」「健康で安心しました」とお返事を頂きました。WEB面会では認知症の母と家族で歌を一緒に歌う姿を目にして心が温まるひと時でした。WEBカンファレンスでは家族の表情から感情も読み取ることで、思いの通じた会議になったと感じています。

コロナウイルスの影響により人との繋がりの大切さを実感すると同時に、その時々で私達が出来ること、大切にしたいことを実現できるようにしていきたいです。

# 「しんせい語録」の読み解き

新生グループには日めくりカレンダー「しんせい語録」があります。

語録には介護現場で感じたことや学んだことへのヒントが掲載されています。

サンビレッジフーズ

森 陽香

「今日の食事はいかがでしたか」  
と新入所の利用者の方に尋ねると、「まあまあやね」と返事が返ってきました。食べ終わった食器は空だけどなにか物足りなかつたのかなと感じた場面でした。そんなやりとりを何度か繰り返し、入所後の一カ月カンファレンスを行う日がやってきました。その日、今までのエピソードを交えながら食事の報告をすると、ご家族から「まあまあは、文句が多い義母にとっては褒め言葉ですよ。」と言っていたいただいた時、嬉しかった思いと利用者の言葉の表面しか受け取れていないことに気が付いた私に反省しました。

入所者の方の中には、疾病により言葉を発することができない方や遠慮されてオブラートに包んで話される方がみえ、食事に対して



の要望を言われる方は多くはありません。何も言わない・言われないから食事に対して問題ないと思うのではなく、毎日の食分量や食事時の表情から利用者の様子を読みとる努力をしていくことで、語録にある「もの言わぬ心の声を感じたい」利用者の声を少しでも感じ取れる栄養士でありたいと思います。勉強の毎日です。



## vol.28

# 「サンビレッジの仲間たち」

サンビレッジ岐阜 リハビリサロンリーダー 尾川正敏

新生会に就職して7年、リハビリサロンのリーダーとして2年目になりました。1年目は通所介護の右も左も分からず、目まぐるしい1年でした。その中で、職員の強みを活かした環境作りと、その強みによって利用者も楽しくリハビリできる場所を作りたい、という気持ちを大切にしました。

サロンでは運動や手芸などのアクティビティを通して楽しいリハビリ活動を提供しています。そこで、職員を運動が得意な人、手芸等が得意な人、個別の相談援助が得意な人など職員の強みを分析しました。そのことにより職員は、強みを活かした、質の高い活動やケアが提供でき、責任と役割を果たし、達成感を持ちます。また、利用者自身も意欲的に参加し、リハビリ活動へと繋がりました。

このようなリーダー業務を通して学んだことがあります。それは『個々の能力を分析し、引き出すことの大切さ』です。職員は得意なことを活かして利用者にとってより良いケアは何かを探すにあたり、利用者を観察・傾聴・アセスメントを深めます。より良いものを提案された利用者は「おつ、また新しい事ができる」と意欲的に参加します。この相乗効果により職員や利用者の表情が変化していくことを実感しました。次のステップとして、在宅生活に反映されるトレーニング・アクティビティを展開していきます。

より一層、利用者・職員の声に耳を傾け、強みを活かせるように頑張ります。





# Family 「家族の声」 Voice



## 家族からの手紙

サンビレッジ新生苑  
カトリア棟リーダー

### 三摩要介

サンビレッジ新生苑では新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のひとつとして、面会制限を実施しています。その為、月に1回、各部署よりご本人の様子を写真とともに手紙にのせ、ご家族に郵送しております。そんなある日、一通のお手紙が届きました。

その内容は、ご家族から私達へ日頃の支援を感謝されている内容でした。新生苑ではひとりの方を支えるために多職種が関わり、ひとつのチームとして構成されています。ご家族も、そのチームの一人です。このようなお言葉は私達チームの支えとなります。大切な家族であるご本人を、これからもチームで支えたいです。



# コロナ川柳

新生グループでは、新たなレクリエーションの提案で、利用者・職員皆で、コロナ川柳を楽しみました。今回は200を超える応募作の中から、選りすぐりの10選をお届けします。

窓越しで  
手を振る家族 絆見え

月末はいつも自粛  
慣れている

コロナさん  
親子の時間 ありがとう

飛沫予防 エコな化粧で  
マスク美人

オンライン つい手を振る  
照れワーク

アルコール  
飲むより先に手指消毒

マスク顔 声と笑顔は  
二倍増し

密さけて 心つながる  
オンライン

ピンチかな 捉え方では  
チャンスかな

新生会 三密避けて  
心は密に!



ホームページもチェック!  
各エリア、トピックス、ブログ  
毎月更新しております。

<https://www.sun-village.jp/>